



ふじのくに茶の都ミュージアム企画展

携帯茶器等の変遷

～旅や野外で楽しむお茶～



令和4年 11月5日(土) ～ 令和5年 2月13日(月)

■開館時間 9:00～17:00 (入場は16:30まで)

■休館日 毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月27日～1月2日)

■観覧料(常設展・企画展共通) 大人(15歳以上)300円、学生 無料

※学生・70歳以上、障害者手帳をお持ちの方は、身分証明書のご提示で無料になります。

協力: 海野俊堂氏、河野真氏、株式会社伊藤園 ほか



ふじのくに茶の都ミュージアム

企画展「携帯茶器等の変遷～旅や野外で楽しむお茶～」

日本では古くから上流階級の人々の間で、茶道具を収納箱に入れて狩りや旅先へ携帯しお茶が飲まれていました。収納箱には様々な大きさがあり、茶箱や茶弁当、旅たび箱だんすなどと呼ばれ、茶道具を移動しやすいようコンパクトにまとめられていました。

明治期から昭和期には、鉄道でお弁当のお供に汽車土瓶や茶瓶、ポリエチレン製の茶瓶、揉み出し茶などが販売されるようになりました。

その後、時代とともに携帯しやすい紙パックや缶、ペットボトル飲料のお茶が流通しました。さらに携帯性に優れた茶器が開発、販売されるようになり、野外でも手軽にお茶を楽しめるようになりました。

本展では、携帯するお茶がどのように人々の間で飲まれるようになったのか、携帯茶等の歴史や簡易飲料の発展、現代の携帯茶器の楽しみ方等を紹介します。

展示内容

- I章 携帯茶のはじまり
- II章 携帯茶のあゆみ
- III章 茶箱・茶籠の楽しみ方
- IV章 現代の携帯茶器



1 茶弁当(江戸後期)、2 茶弁当(江戸期)、3 二段式野風炉(文政5年) 河野眞氏蔵、4 携帯炊事喫茶道具(明治期) 海野俊堂氏蔵、5 汽車土瓶(お茶は静岡)、6 汽車茶瓶(はままつ驛) 個人蔵、7 MATCHA TO GO 野点セット(現代) Matcha Organic Japan 株式会社

関連イベント

A セミナー「携帯茶の楽しみ方～野外でおいしくお茶を淹れるコツ～」

楽しいティータイムの提案で活躍中の市川雅恵氏による、おすすめの携帯茶器やお茶の淹れ方を学び、持ち運びに便利な急須を使い、自分でお茶を淹れてお菓子と一緒に楽しめます。

- 日時** 令和4年12月4日(日) ①11:00～12:10 ②14:00～15:10 (各回70分)
- 場所** 博物館1階多目的ホール
- 講師** 市川雅恵 氏(株式会社チャイワークス 代表取締役)
- 定員** 各回先着30名(事前予約制、11月1日～受付開始)
- 体験料** 500円(会期中の観覧券が必要です)
- 対象** 中学生以上



※定員に達し次第、受付を終了します。※内容は変更になることがありますので、詳細はホームページでご確認ください。※写真はイメージです。

予約方法 ふじのくに電子申請サービス又はFAXにてお申し込みください。

ふじのくに
電子申請サービス
右側の二次元コードから
アクセス

A セミナー
「携帯茶の楽しみ方」



FAX

FAX番号: 0547-46-5007

件名「携帯茶の楽しみ方セミナー」とし、本文へ①氏名(全ての参加者)、②電話番号・FAX番号、③参加希望時間を記入の上、送信してください。(一度に5人まで申込み可)

※お預かりした個人情報はこのイベント以外に使用しません。 ※1週間経っても申込受付の返信がない場合は、お手数ですがお電話でご連絡ください。

B ギャラリートーク

学芸員による企画展の見所を解説します。

- 日時** 令和4年11月12日(土)、令和5年1月3日(火)
各日①10:30～11:00 ②13:30～14:00
- 場所** 博物館2階企画展示室
- 定員** 10名程度(当日先着順)
※総合案内で整理券を配布します。
- 参加料** 無料(当日の観覧券が必要です)
※当日、総合案内にて整理券をお受け取りの上、企画展示室前へお集まりください。

ふじのくに茶の都ミュージアム

〒428-0034 静岡県島田市金谷富士見町3053番地の2
TEL 0547-46-5588 FAX 0547-46-5007
HP <https://tea-museum.jp>

交通のご案内

- ・JR金谷駅より、バス・タクシーで約5分、徒歩約25分
- ・新東名高速道路: 島田金谷ICより約13分
- ・東名高速道路: 相良牧之原ICより約10分
- ・国道1号線: 大代ICより約10分

